

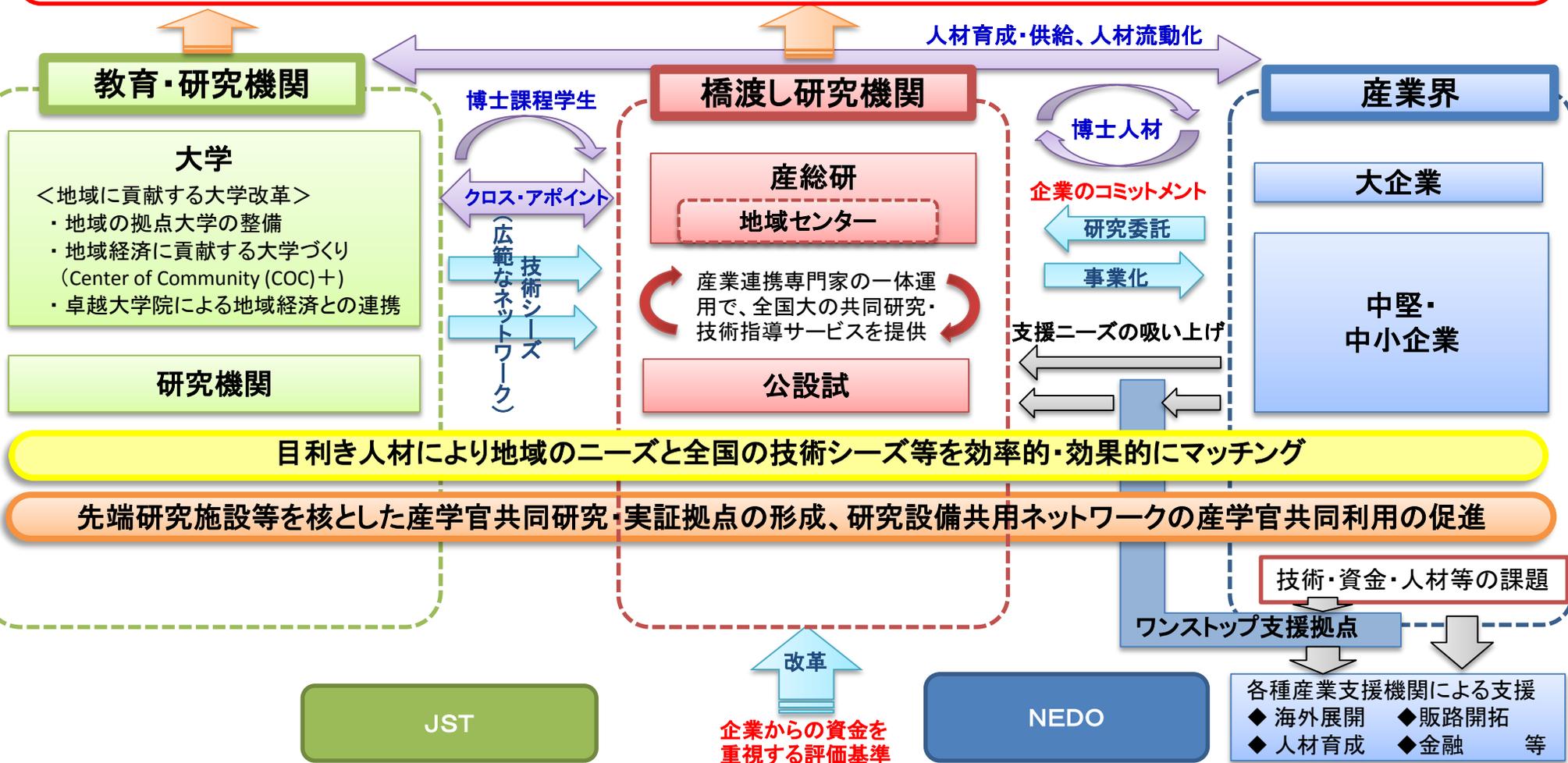
これまでの地域クラスター政策の反省点

- イノベーション実現に向け、各プレイヤーのミッションが不明確であるとともに、ミッションの達成に全力を傾注する仕組みがなかった。
- 地域完結主義に陥りがち。（地域外との連携がない）
- 各プレイヤー間で人材や技術を流動化させる仕組みがなかった。

新たな方向性

- 各プレイヤーのミッションの明確化を図るとともに、各プレイヤーのコミットメントを最大限引き出す仕組み。
- 全国の資源を積極的に活用する仕組み。（全国リソースの総動員）
- クロスアポイントを導入することや、橋渡し研究後期段階では研究委託を基本とすることにより、人材や技術を流動化。

地域特性を活かしつつ、全国ネットワークでリソースを総動員



取組内容

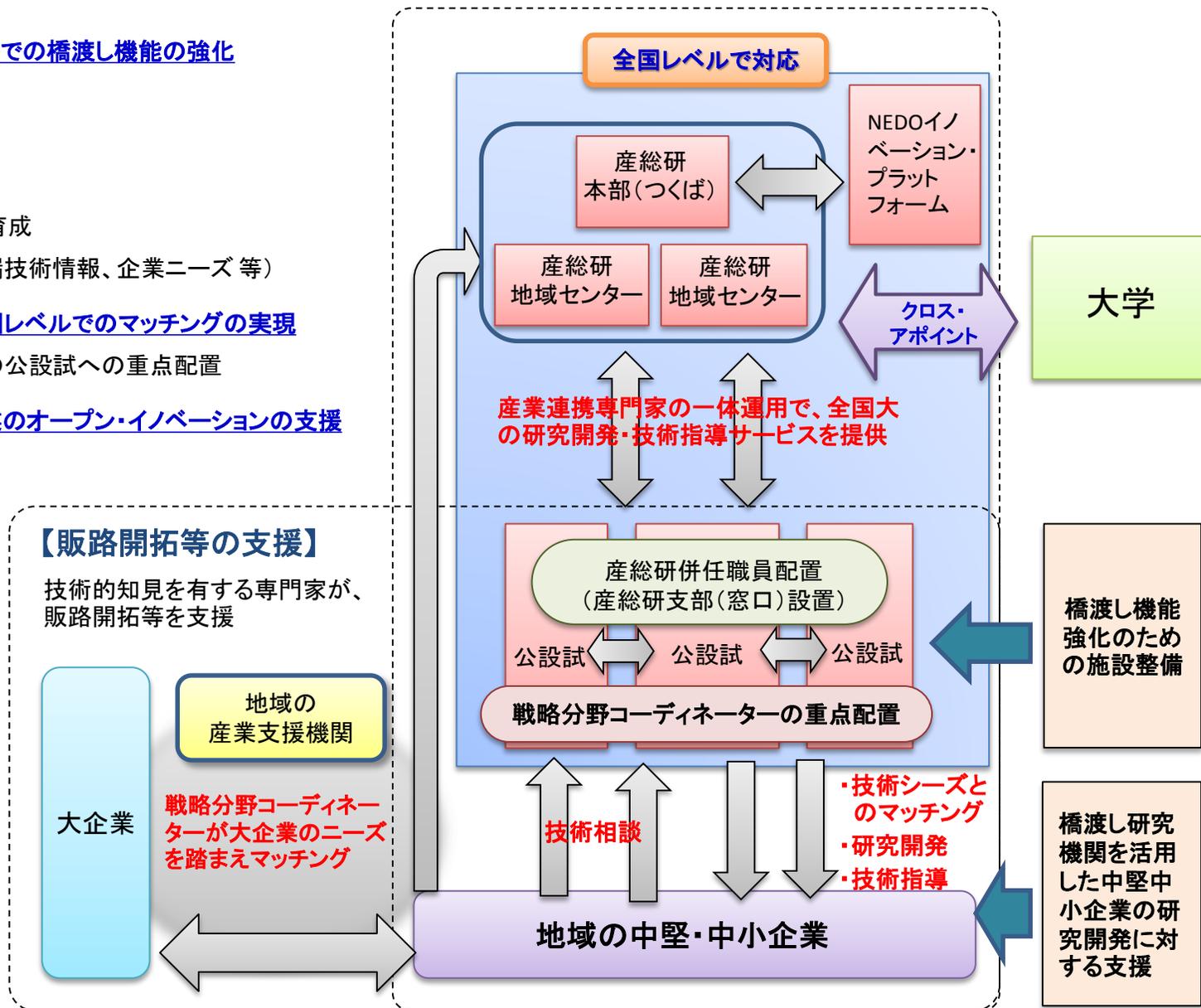
(1) 産総研と公設試の連携による全国レベルでの橋渡し機能の強化

- ① 産総研及び公設試の橋渡し機能強化
- ② 産総研と公設試相互間の連携確立
 - ・ 公設試に産総研併任職員を配置
 - ・ 産総研による公設試内の橋渡し人材の育成
 - ・ 産総研と公設試相互間の情報共有(先端技術情報、企業ニーズ等)

(2) 戦略分野における産業専門家による全国レベルでのマッチングの実現

産業専門家(戦略分野コーディネーター)の公設試への重点配置

(3) 橋渡し研究機関を活用した中堅中小企業のオープン・イノベーションの支援



先端技術活用による
製品やプロセスの革新

新市場の開拓

オープンイノベーションの推進

全国のリソースを積極活用等する仕組み② (産学官研究開発・実証拠点、設備共用ネットワーク、マッチングプランナー)

- 目利き人材により地域のニーズと全国の技術シーズ等を効率的・効果的にマッチング
- 先端研究施設等を核とした産学官共同研究・実証拠点の形成、研究設備共用ネットワークの産学官共同利用の促進

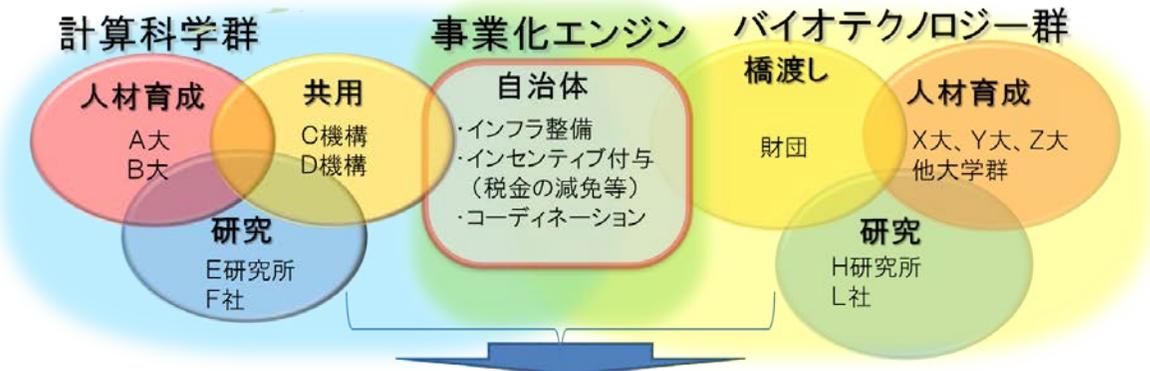
【産学官による地域発研究開発・実証拠点(リサーチコンプレックス)】

地域の将来ビジョンを作り、その実現に向け、地域で不足する資源は域外からも導入し、産学官の集積拠点を形成。

〔 想定されるモデルケース 〕

先端研究施設等を核として大学等と企業が集積し、将来性を有する地域産業ニーズと革新的技術シーズの結節点となる高い潜在可能性。

- ・最先端計算科学
- ・先端バイオ
- ・ロボティクス etc.



ニーズ志向型の先端研究開発による革新的技術シーズ創出と持続的に発展する産業拠点の形成

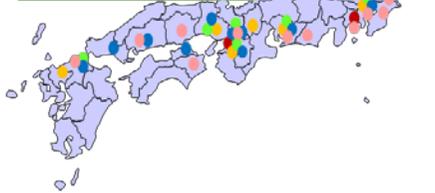
【先端研究設備の民間利用を促進する全国ネットワーク】

先端研究基盤共用・プラットフォーム形成事業

◆最先端技術を中核に、同一技術領域の施設・設備からなるネットワークを構築する技術先導型の共用プラットフォームを形成。全国34機関が参加。

- ①光ビームプラットフォーム
- ②NMRプラットフォーム
- ③その他

革新的ハイパフォーマンスコンピューティングインフラ(HPCI)



ナノテクノロジープラットフォーム

◆高価な機器への依存度が高いナノテクノロジー研究に係る、最先端研究設備及び研究支援能力を分野横断的にかつ最適な組合せで提供できる体制を構築して、産業界の技術課題の解決に貢献。

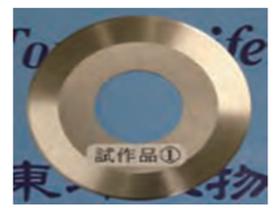
【分子・物質合成プラットフォーム(九州大学) 2層カーボンナチューブを用いた透明導電フィルムの開発 (利用企業) 東レ㈱】



・九州大学が有する先端設備及びカーボンナチューブ(CNT)切断・分散技術を東レが活用し、共同研究へ。
製造技術で特許取得。電子ペーパー用CNT透明導電フィルムとして東レが量産化を実現。
 ・従来と比べて、**対屈曲性、対引張り性、打鍵耐久性、対湿熱性**で大きく優れるとともに、**製造コスト**においても**低減**が期待。

【地域のニーズを全国の先端技術シーズと最適マッチング(マッチングプランナー)】

成果事例 大学の先端技術と地域企業ニーズをマッチング(東北大学)



東北大学のEBM(電子ビーム積層造形)法と東洋刃物の共同研究より高耐食性刃物の開発に成功。

本製品が地元水産工業で活用され、地元水産加工業の競争力向上、早期復興につながる。水産加工業の復興による、地元の経済効果、雇用拡大も期待